

ワンポイントアドバイス

暖かく、日当たりの良い場所を好みます！

生育適温は22～30℃で高温を好みます。日当たりが悪いと着果が悪くなり、果実の肥大、着色も悪くなります。日当たりのよい場所を選び、密植を避け、摘葉、整枝により十分に日が当たるようにしましょう。

豆知識

肥料に含まれる要素について

チッソ	タンパク質構成要素などで、植物の生育・収量に大きく影響します。
リンサン	核酸やリン脂質の構成元素で、植物の分げつ、根の伸長、開花、結実を促進します。
カリ	多くの酵素の活性化等に関与しており、デンプンの蓄積、ショ糖の転流を促進します。
ホウ素	細胞壁生成に重要な役割を持ち、カルシウムの吸収、転流に関与しています。不足すると欠乏症を起こしてしまいます。

定番肥料はこちら

やさい1号 20kg



速効性肥料と有機質肥料、緩効性肥料を配合したJA東びわこオリジナル商品。基肥に最適です。野菜に不足しがちなホウ素も入っているため、安定生産と品質の向上に役立ちます。

チッソ リンサン カリ ホウ素
12 - 10 - 12 - 0.3

やさい2号 20kg



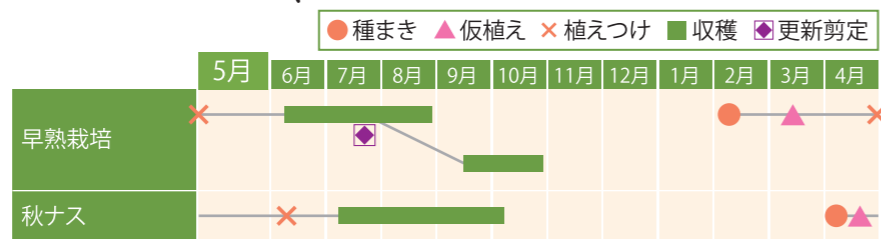
速効性肥料と有機質肥料を含むJA東びわこオリジナル商品。作物を選ばず、基肥・追肥どちらにも使える万能肥料です。

チッソ リンサン カリ
8 - 8 - 8

お買い求め・ご注文はお近くの営農経済センターまたは支店まで！

※お取り寄せ商品となります。あらかじめご了承ください。
※時期などの都合により、取り扱いを休止・中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

栽培カレンダー



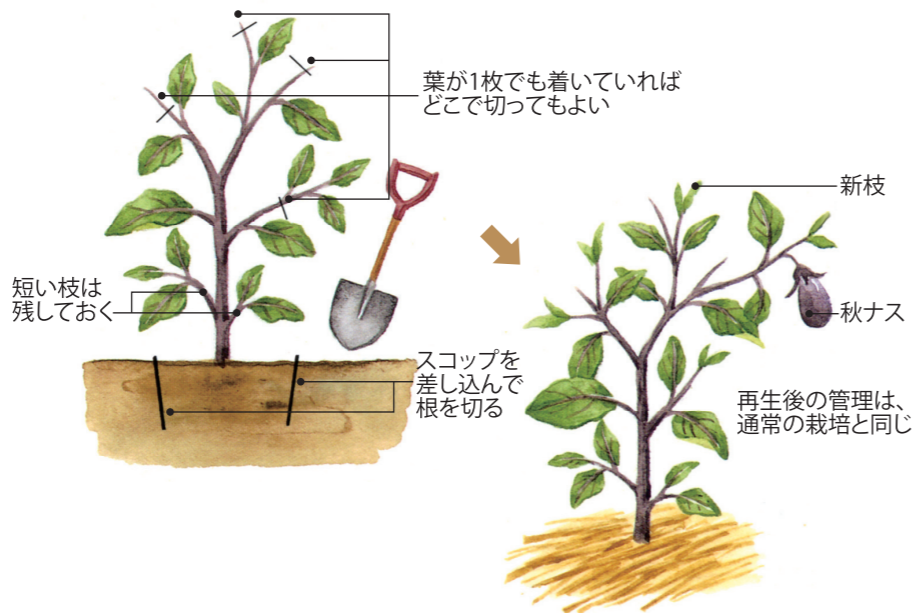
5 追肥



1番果の収穫時から始め、1回に「やさい2号」(N・P・K=8・8・8) 20～30g/m²を施しましょう。2～3週間おきに畝の肩に追肥しましょう。畝が乾燥すると生育や果実の生長が悪くなるので、たっぷりと水やりし、敷きわらを敷きましょう

6 更新剪定

真夏に枝と根の一部を切り返すと、新しい枝が出て、秋ナスが収穫できます。根を切った後は、500倍の液肥を与えて、敷きわらをしましょう



7 収穫

早めに収穫して株の負担を軽くしましょう



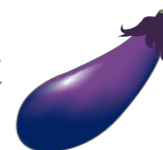
土に触れる安心、育てる喜び、収穫する感動、食べる幸せ。

今日から始める家庭菜園

ナス

果菜類・ナス科

煮る、焼く、揚げる、漬けるなど用途が広い万能野菜。現在の主流は長卵形のナスですが、歴史の長さを物語るように、各地の気候風土に根差した在来品種が数多く残っています。



栽培のポイント



- ナス科作物の後には3～4年連作しないでください。
- 光が不足すると花の質、果実の太り、色が悪くなるので、摘葉や整枝によって十分光が当たるようにしましょう。

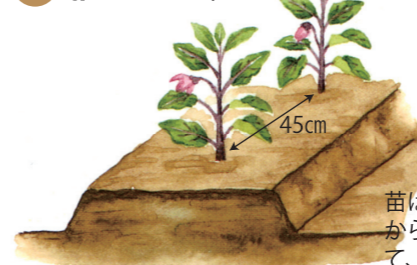
栽培方法

1 苗選び



種まきから本葉7枚にするのに80日くらいかかるので、購入するのが得策。接ぎ木苗が手に入ればベスト

3 植えつけ

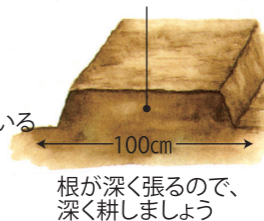


ポリポットから根鉢を崩さないように抜き取りましょう

苗は、購入後日当たりのよいところに2～3日置いてから植えつけましょう。前日じゅうぶんに水を与えて、根鉢が崩れるのを防ぎましょう。植え穴は大きめに掘り、浅めに植えつけましょう

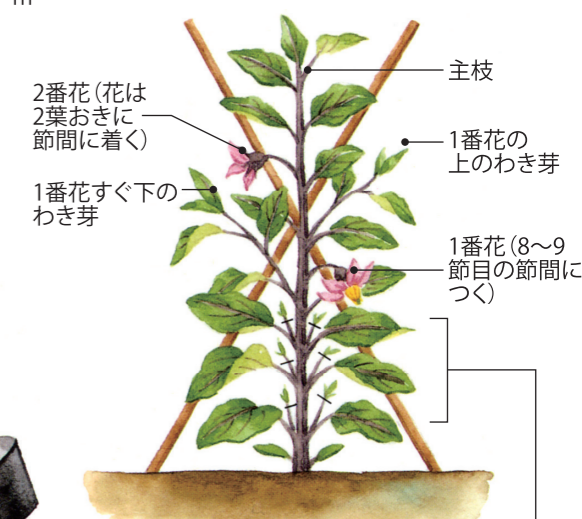
2 畑の準備

荒起し
苦土消石灰150g/m²
追肥3kg/m²
元肥
「やさい1号」100～120g/m²
(N・P・K=12・10・12)



4 摘心・支柱立て

主枝と、一番花すぐ上とすぐ下のわき芽を伸ばして3本仕立てにしましょう。わき芽かきをしたところに支柱を立て、誘引しましょう。葉が茂りすぎたときは古い葉から摘み取って、全体的に日当たりをよくしましょう



この間のわき芽は早めにかき取りましょう。葉は1番果収穫までつけておきましょう